

第2回

サッカー等スタジアム 整備検討協議会

日時：平成29年6月27日（火）9:30～

場所：東別館9階特別中会議室

会次第

- 1 第1回協議会幹事会合同会の報告
- 2 北九州・熊本スタジアム視察の概要
- 3 Jリーグ説明(スタジアムが地域にもたらす効果)
- 4 鹿児島ユナイテッドFC説明(クラブのビジョン)
- 5 サッカー等スタジアム整備の必要性等
 - ①本市等の「現状」
 - ②サッカー等スタジアムの「必要性」と地域にもたらす「効果」
 - ③サッカー等スタジアム整備に向けた「課題」
- 6 今後のスケジュール

第1回サッカー等スタジアム 整備検討協議会幹事会合同会の報告

○日 時：平成29年3月27日（月） 15:30～16:30

○主な意見

- ・スポーツは市民の一体感を高め、街を盛り上げる大きな可能性を持っている。
- ・市民や企業の理解を得ることが重要。結論ありきではなく、鹿児島ユナイテッドFCなど関係団体の意見を聞きながら、様々な角度からの検討が必要である。
- ・コストや収益性のみでなく、間接的な影響を含め、市全体を考慮しての検討が必要である。
- ・スタジアム設置は鹿児島サッカー界の念願である。多目的に利用できる施設になればよい。

北九州・熊本スタジアム視察の概要

- 日 時：平成29年5月14日(日)・15日(月)
- 視察場所：北九州市ミクニワールドスタジアム(街なか)
熊本えがお健康スタジアム(郊外)
- 視察人数：14名(協議会委員等)

	北九州ミクニワールドスタジアム	熊本えがお健康スタジアム
種別	サッカー・ラグビー専用	陸上競技用トラック併設
立地・アクセス	【街なか】 JR小倉駅から徒歩7分	【郊外】 熊本駅から光の森駅へJRで25分 光の森駅から徒歩40分
ホームクラブ	ギラヴァンツ北九州	ロアッソ熊本
所有者	北九州市(指定管理者が管理)	熊本県(指定管理者が管理)
建築面積	11,722㎡	20,241㎡
観客席数	15,300席	32,000席
駐車場	無(関係者用60台のみ)	有(2,800台:無料)

・北九州ミクニワールドスタジアム



・熊本えがお健康スタジアム



サッカー等スタジアム整備の必要性等 ～本市等の「現状」①～

【鴨池陸上競技場①】



鹿児島ユナイテッドFC ホームグラウンド

プロスポーツ(野球を除く。)興業における
屋外の「観る施設」としては、鹿児島で唯一の施設

県立サッカー・ラグビー場⇒「観る施設」ではない

土日祝は、学生・社会人・プロの
各階層の各種大会等あり



恒常的に日程調整が困難な状況

・大会開催に向けて芝生の
養生期間が必要
⇒グラウンドの年間稼働
日数は約80日程度

サッカー等スタジアム整備の必要性等 ～本市等の「現状」②～

【鴨池陸上競技場②】



現在の改修後の観客席：12,500席
⇒J1ライセンスの基準以下
※Jリーグによれば、鴨池陸上競技場では
J2ライセンス基準もクリアしない可能性あり

観客席・屋根の要件を満たす改修を行う場合

躯体からの改修となり、費用は
新スタジアム整備と同等程度になる可能性

サッカー等スタジアム整備の必要性等 ～本市等の「現状」③～

【鹿児島ユナイテッドFC①】



J3に加入後、2シーズン目
※昨シーズン5位
今シーズン6位(6/25現在)

平均観客動員数(ホームゲーム)
昨シーズン 3,665人
今シーズン 約3,778人(6/25現在)

Jリーグの平均観客動員数(昨シーズン)
J1: 17,968人(36,935人～10,728人)
J2: 6,973人(14,559人～3,224人)
J3: 2,957人(7,771人～1,018人)

サッカー等スタジアム整備の必要性等 ～本市等の「現状」④～

【鹿児島ユナイテッドFC②】

©J.LEAGUE PHOTOS



新スタジアムの整備要望
78,756人の署名

ファンクラブの会員数
昨シーズン1,121人
↓
現時点約1,800人

地域との連携

ボランティア活動
スポーツ教室
イベント参加

メディアとの連携

テレビ、ラジオ等
⇒冠番組、特集
コーナー

サッカー等スタジアム整備の必要性等 ～本市等の「現状」⑤～

【行政①】 国

ア スタジアム・アリーナ改革指針（H28.11.16策定）

スタジアムを「観る施設」と定義し、「周辺産業への経済波及効果等を生み出し、地域活性化の起爆剤となる施設」の整備等に係る指針

イ スタジアム・アリーナ整備に係る資金調達方法・民間資金活用プロセスガイド（H29.5.31公表）

官民連携によりスタジアム整備を推進するため、民間活力を活かした事業方式や資金調達の導入方法等を示したもの

※その他、計画策定の支援のほか、収益拡大の取組事例を紹介

サッカー等スタジアム整備の必要性等 ～本市等の「現状」⑥～

【行政②】 県

○県知事のマニフェスト(H28. 7)

プロスポーツチーム(サッカー、バスケット等)の育成支援と
競技場等の対応施設を整備

【行政③】 本市

○市長のマニフェスト(H28. 11)

鹿児島ユナイテッドFCの活動支援とオール鹿児島でサッカースタジアムを整備

⇒第5次総合計画後期基本計画に位置付け(H29.2策定)

サッカー等スタジアム整備の必要性等 ～スタジアムの「必要性」と地域にもたらす「効果」①～



市民生活の
豊かさ向上

Jライセンス
取得要件の確保



地域への愛着の醸成
地域のシンボル

鴨池陸上競技場の
利用過多の解消
↓
地域のさらなる
スポーツ振興



サッカー等スタジアム整備の必要性等 ～スタジアムの「必要性」と地域にもたらす「効果」②～

市民生活の
豊かさ向上

「観て・楽しめる」
施設環境の充実
プロスポーツ等観戦



「地域の活性化」
地域の賑わい創出
交流人口の増

サッカー等スタジアム整備の必要性等 ～整備に向けた「課題」①～

【施設の立地・機能】

- 1 地域の賑わい創出、経済波及効果を踏まえた
「立地条件」
- 2 観て・楽しめる施設等とするための
「スタジアムの機能」
- 3 スタジアム(周辺を含む。)の恒常的な利用を図るための
「複合的な用途」(施設の稼働率向上)

「スタジアムにいかに多くの方々に来ていただくか」の視点

サッカー等スタジアム整備の必要性等 ～整備に向けた「課題」②～

【整備・管理手法】

- 1 民間活力を最大限に活かせる
「整備手法」(資金調達等の財源確保を含む。)
- 2 スタジアムの効率的・効果的な運営とするための
「管理運営主体」
- 3 他類似施設との棲み分け、運営コストを低減するための
「管理運営方針・方法」

「コストセンターからプロフィットセンターへ」の視点

今後のスケジュール

平成29年8月（上旬：幹事会、下旬：協議会）

《協議事項》

「立地条件」・「スタジアムの機能」・「複合的な用途」

平成29年10月（上旬：幹事会、下旬：協議会）

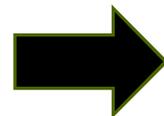
《協議事項》

「整備手法」・「管理運営主体」・「管理運営方針・方法」

平成29年12月（上旬：幹事会、下旬：協議会）

《協議事項》

提言に向けた「まとめ」



平成30年1月
市長への「提言」